

<p>無人航空機の製造者、名称、重量その他の無人航空機を特定するために必要な事項</p>	
<p>無人航空機の機能及び性能に関する事項</p>	
<p>無人航空機の飛行経歴並びに無人航空機を飛行させるために必要な知識及び能力に関する事項</p>	
<p>無人航空機を飛行させる際の安全を確保するために必要な体制に関する事項</p>	
<p>その他参考となる事項</p>	<p>【過去の許可等の情報（※）】 ※今回の申請先の官署から直近に受けた許可等の情報を記載すること。 <input type="checkbox"/> 過去に許可等を受けたことがある 許可承認番号： 許可承認日： 上記の許可等と今回の申請内容との比較 ・ 許可等の事項（密集地での飛行等） <input type="checkbox"/> 同一 <input type="checkbox"/> 変更あり ・ 飛行の経路及び高度 <input type="checkbox"/> 同一 <input type="checkbox"/> 変更あり ・ 使用する機体 <input type="checkbox"/> 同一 <input type="checkbox"/> 変更あり ・ 飛行させる者 <input type="checkbox"/> 同一 <input type="checkbox"/> 変更あり ・ 飛行マニュアル <input type="checkbox"/> 同一 <input type="checkbox"/> 変更あり （変更内容： ） <input type="checkbox"/> 過去に許可等を受けたことはない</p>

(次頁に続く)

その他参考となる事項	<p>【第三者賠償責任保険への加入状況】</p> <p><input type="checkbox"/>加入している（<input type="checkbox"/>対人 <input type="checkbox"/>対物）</p> <p>保険会社名：</p> <p>商 品 名：</p> <p>補 償 金 額：(対人) (対物)</p> <p><input type="checkbox"/>加入していない</p>
備 考	

(参考様式)

別添資料○

飛行の経路

(広域図)

(詳細図)

(参考様式)

別添資料○

無人航空機の製造者、名称、重量等

無人航空機	製造者名	
	名称	
	重量 (最大離陸重量)	
	製造番号等	
	仕様が分かる資料 (設計図又は写真)	
操縦装置	製造者名	
	名称	
	仕様が分かる資料	

(様式2)

無人航空機の機能・性能に関する基準適合確認書

1. 飛行させる無人航空機に関する事項を記載すること。

製造者名		名称	
重量※		製造番号等	

2. ホームページ掲載無人航空機の場合には、改造を行っているかどうかを記載し、「改造している」場合には、3. の項も記載すること。

改造の有無 : 改造していない / 改造している (→3. を記載)

3. ホームページ掲載無人航空機に該当しない場合又はホームページ掲載無人航空機であっても改造を行っている場合は、次の内容を確認すること。

確認事項		確認結果
一般	鋭利な突起物のない構造であること (構造上、必要なものを除く。)	適 / 否
	無人航空機の位置及び向きが正確に視認できる灯火又は表示等を有していること。	適 / 否
	無人航空機を飛行させる者が燃料又はバッテリーの状態を確認できること。	適 / 否
遠隔操作の機体	特別な操作技術又は過度な注意力を要することなく、安定した離陸及び着陸ができること。	適 / 否 / 該当せず
	特別な操作技術又は過度な注意力を要することなく、安定した飛行 (上昇、前後移動、水平方向の飛行、ホバリング (回転翼機)、下降等) ができること。	適 / 否 / 該当せず
	緊急時に機体が暴走しないよう、操縦装置の主電源の切断又は同等な手段により、モーター又は発動機を停止できること。	適 / 否 / 該当せず
	操縦装置は、操作の誤りのおそれができる限り少ないようにしたものであること。	適 / 否 / 該当せず
	操縦装置により適切に無人航空機を制御できること。	適 / 否 / 該当せず
自動操縦の機体	自動操縦システムにより、安定した離陸及び着陸ができること。	適 / 否 / 該当せず
	自動操縦システムにより、安定した飛行 (上昇、前後移動、水平方向の飛行、ホバリング (回転翼機)、下降等) ができること。	適 / 否 / 該当せず
	あらかじめ設定された飛行プログラムにかかわらず、常時、不具合発生時等において、無人航空機を飛行させる者が機体を安全に着陸させられるよう、強制的に操作介入ができる設計であること。	適 / 否 / 該当せず

※最大離陸重量の形態で確認すること。ただし、それが困難な場合には、確認した際の重量を記載すること。

(参考様式)

別添資料○

無人航空機の運用限界等

(運用限界)

最高速度	
最高到達高度	
電波到達距離	
飛行可能風速	
最大搭載可能重量	
最大使用可能時間	

(飛行させる方法)

無人航空機の追加基準への適合性

※許可や承認を求める事項に応じて、必要な部分を抽出して（不要な部分は削除して）資料を作成してください。

※仮に、基準への適合性が困難な場合には、代替となる安全対策等を記載するなど、安全を損なうおそれがない理由等を記載してください。

○進入表面等の上空の空域を飛行

○150m以上の高さの空域を飛行

基準	適合性
航空機からの視認をできるだけ容易にするため、灯火を装備すること又は飛行時に機体を認識しやすい塗色を行うこと。	

○人又は家屋の密集している地域の上空を飛行（第三者上空の飛行以外）

○人及び物件との距離30mを確保できない飛行（第三者上空の飛行以外）

○催し場所上空での飛行（第三者上空の飛行以外）

基準	適合性
物件に接触した際の危害を軽減する構造を有すること。	

○夜間飛行

基準	適合性
無人航空機の姿勢及び方向が正確に視認できるよう灯火を有していること。ただし、無人航空機の飛行範囲が照明等で十分照らされている場合はこの限りでない。	

○目視外飛行

基 準	適合性
<ul style="list-style-type: none"> 自動操縦システムを装備し、機体に設置されたカメラ等により機体の外の様子を監視できること。 	
<ul style="list-style-type: none"> 地上において、無人航空機の位置及び異常の有無を把握できること（不具合発生時に不時着した場合を含む。）。 	
<ul style="list-style-type: none"> 電波断絶等の不具合発生時に危機回避機能（自動帰還機能、電波が復帰するまで空中で位置を維持する機能等のフェールセーフ機能）が正常に作動すること。 	

○危険物の輸送

基 準	適合性
<p>危険物の輸送に適した装備が備えられていること。</p>	

○物件の投下

基 準	適合性
<p>不用意に物件を投下する機構でないこと。</p>	

無人航空機を飛行させる者一覧

No	氏名	住所	飛行させることができる無人航空機	備考

(様式3)

無人航空機を飛行させる者に関する飛行経歴・知識・能力確認書

無人航空機を飛行させる者「〇〇 〇〇*」は、「無人航空機の飛行に関する許可・承認の審査要領」の4-2に掲げる飛行経歴・知識・能力を有していることを確認した。

確認事項		確認結果	
飛行経歴	無人航空機の種類別に、10時間以上の飛行経歴を有すること。	適 / 否	
知 識	航空法関係法令に関する知識を有すること。	適 / 否	
	安全飛行に関する知識を有すること。 ・飛行ルール（飛行の禁止空域、飛行の方法） ・気象に関する知識 ・無人航空機の安全機能（フェールセーフ機能 等） ・取扱説明書に記載された日常点検項目 ・自動操縦システムを装備している場合には、当該システムの構造及び取扱説明書に記載された日常点検項目	適 / 否	
能 力	一般 飛行前に、次に掲げる確認が行えること。 ・周囲の安全確認（第三者の立入の有無、風速・風向等の気象 等） ・燃料又はバッテリーの残量確認 ・通信系統及び推進系統の作動確認	適 / 否	
	遠隔操作の機体	GPS等の機能を利用せず、安定した離陸及び着陸ができること。	適 / 否 / 該当せず
		GPS等の機能を利用せず、安定した飛行ができること。 ・上昇 ・一定位置、高度を維持したホバリング（回転翼機） ・ホバリング状態から機首の方向を90°回転（回転翼機） ・前後移動 ・水平方向の飛行（左右移動又は左右旋回） ・下降	適 / 否 / 該当せず
	自動操縦の機体	自動操縦システムにおいて、適切に飛行経路を設定できること。	適 / 否 / 該当せず
	飛行中に不具合が発生した際に、無人航空機を安全に着陸させられるよう、適切に操作介入ができること。	適 / 否 / 該当せず	

平成 年 月 日

飛行を監督する

責任者の所属・氏名

印

※個人申請の場合には、飛行を監督する責任者の所属・氏名欄に署名するのみで差し支えない。

(注) 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。

(参考様式)

別添資料○

無人航空機を飛行させる者の追加基準への適合性

以下のとおり、飛行させる者は飛行経験を有しており飛行マニュアルに基づいた飛行訓練を実施している。

飛行させる者： ○○ ○○

総飛行時間： _____時間

夜間飛行時間： _____時間

目視外飛行時間： _____時間

物件投下経験： _____回

飛行マニュアル

※申請書記載例を参照の上、飛行マニュアルを作成してください。

(点検機体名：)

点検日	点検者	点検内容		交換部品等	
		点検項目	点検結果		
		モーター	外観		
			異音の有無		
			回転の状態		
		プロペラ	外観		
			損傷		
			曲がり		
		フレーム	外観		
			損傷		
			ネジのゆるみ		
		電気系統	コネクタの状態		
			ケーブルの状態		
		送信機	外観		
			スティックの状態		
(特記事項)					

